

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	哲学たいけん村無我苑				
従たる施設の場合、主たる施設名	-				
大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号	
所管部局	文化財課				
1 土地データ					
所在地 (小学校地区)	碧南市 坂口町3丁目100番地 (西端小学校区)	敷地面積	8,068 m ²	うち借地面積 - m ²	
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)					
構成棟	瞑想回廊、研修道場、市民茶室				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成4年度	経過年数	33年	総取得費 1,200,000 千円	
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	978 m ²	うち借用面積 - m ²	
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定 指定無し	
3 管理運営データ					
利用状況 ^{※1}	令和4年度 31,718人	令和5年度 30,842人	令和6年度 39,295人	平均利用者数 33,952人 管理形態 直営	
	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
施設コスト ^{※2} (R4~R6年度) (ファシリティコスト)	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	5,248,035 - - - 48,620,211	支出 ①維持コスト ②運営コスト 人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計 人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計 合計(①+②)	3,618,859 1,865,301 110,647 13,593,220 - 6,200,842 - 25,388,869 17,903,836 3,153,185 1,290,428 6,131,928 28,479,377 53,868,246
	施設外観				
					
	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}		
	1,587円/人		55,080円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}		
	155円/人		674円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

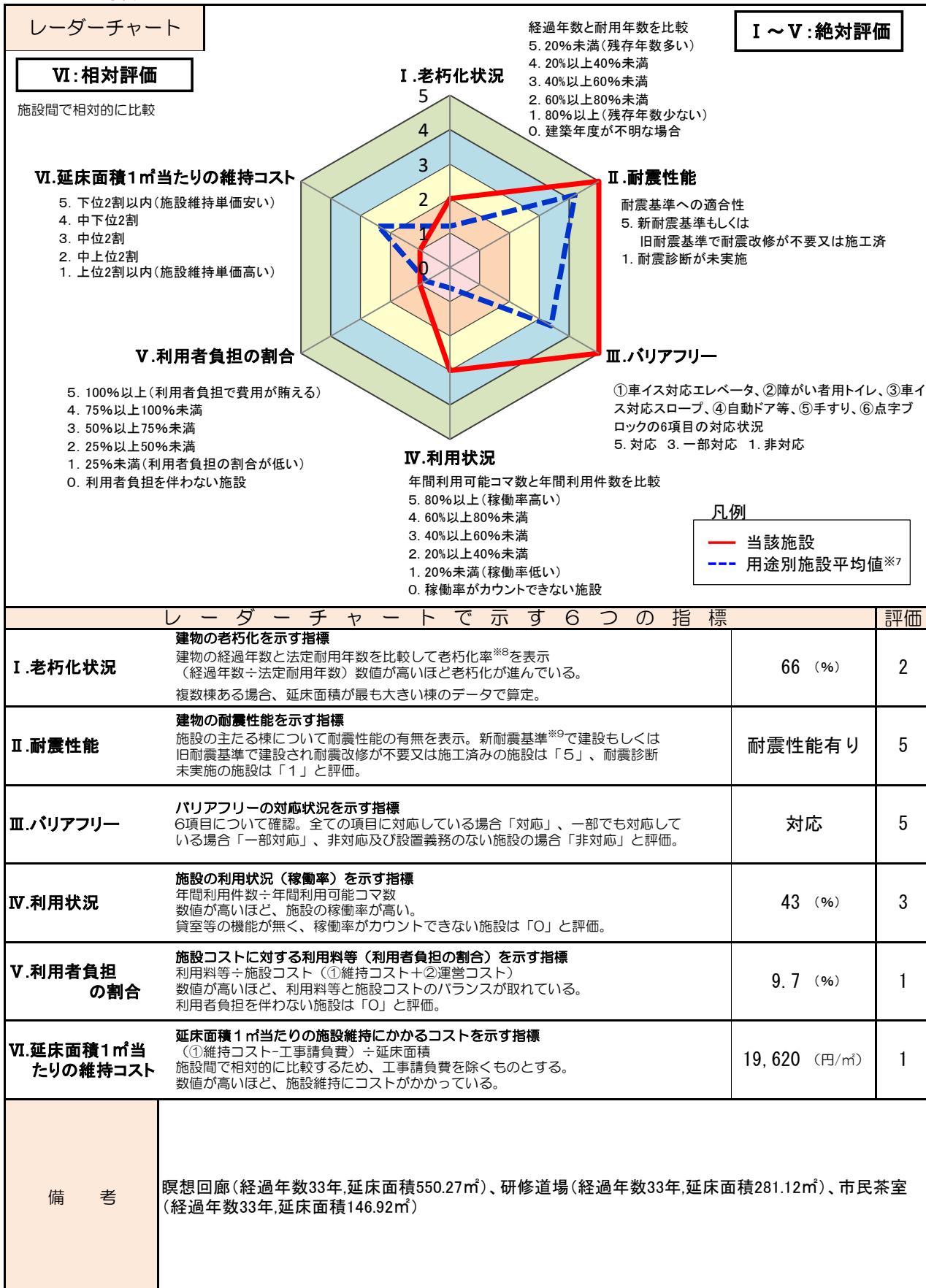
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	碧南海浜水族館					
従たる施設の場合、主たる施設名	-					
大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号		
所管部局	海浜水族館					
1 土地データ						
所在地 (小学校地区)	碧南市 浜町2番地3 (棚尾小学校区)		敷地面積 うち借地面積	臨海公園敷地内 m ² - m ²		
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)						
構成棟	水族館、渡り通路(テラス)、屋外便所、科学館、資料倉庫、屋上倉庫					
複合・併設施設	-					
建築年度	昭和56～平成13年度	経過年数	24～44年	総取得費 - 千円		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3,015 m ²	うち借用面積 - m ²		
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定 指定無し		
3 管理運営データ						
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数		
	224,814人	209,825人	192,925人	209,188人		
施設コスト ^{※2} (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	47,314,167	支	人件費	7,237,717
		国費	-		修繕料	4,436,707
		県費	-		火災保険料	52,260
		その他	15,485,666		維持管理委託料	24,720,121
		市費(一般財源)	174,502,435		敷地借上料	-
		合計	237,302,268		工事請負費	38,781,967
		施設外観			その他維持費	-
					小計	75,228,772
				支出	人件費	98,072,862
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}	延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			光熱水費	24,653,492
		1,134円/人			その他委託料	14,243,002
		利用者1人当たりの負担額 ^{※5}			その他運営費(事業費)	25,104,140
		226円/人			小計	162,073,496
		特記事項			合計(①+②)	237,302,268

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

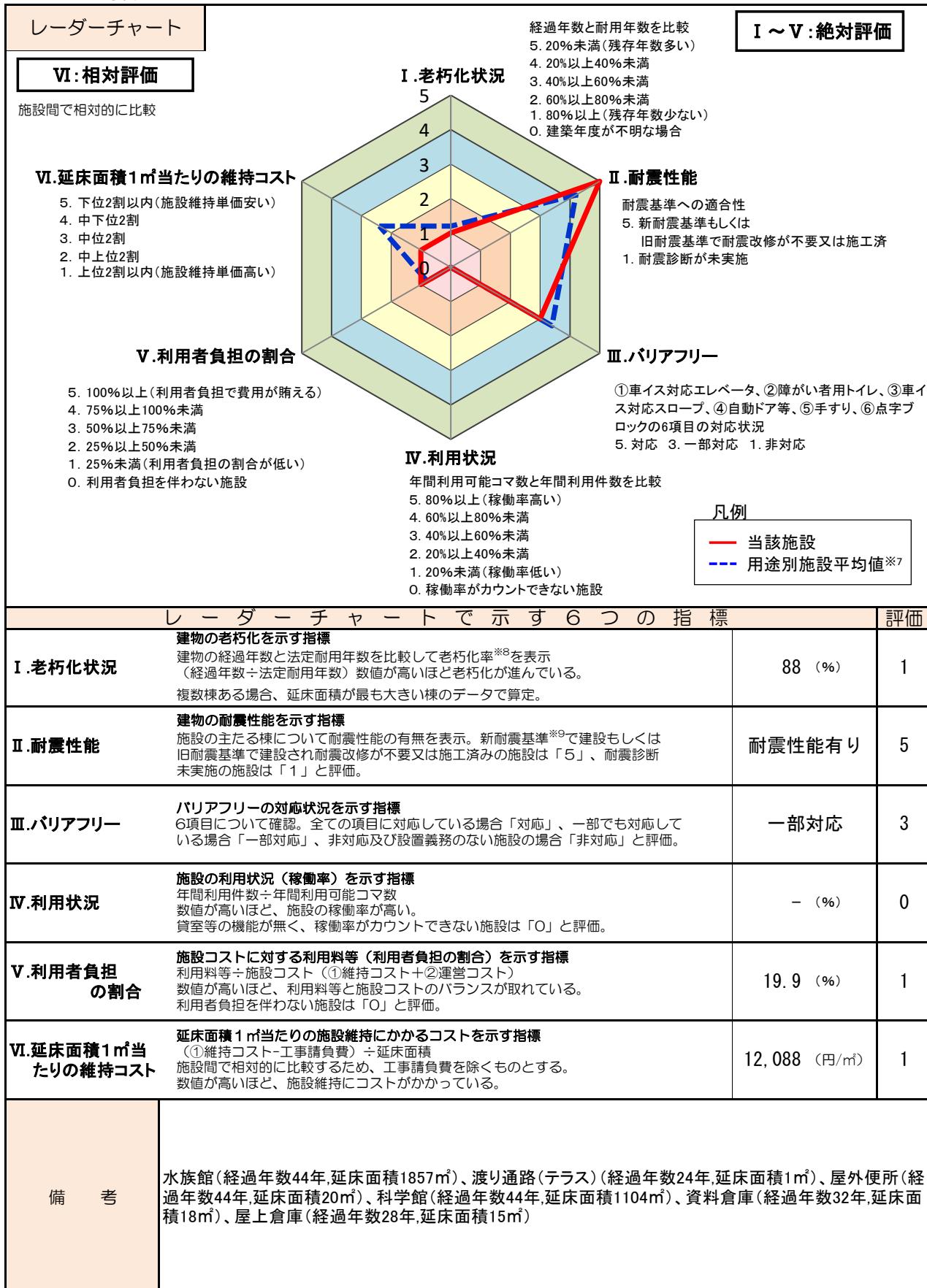
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	藤井達吉現代美術館					
従たる施設の場合、主たる施設名	-					
大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号		
				23		
所管部局	藤井達吉現代美術館					
1 土地データ						
所在地 (小学校地区)	碧南市 音羽町1丁目1番地 (大浜小学校区)	敷地面積	2,138 m ²			
		うち借地面積	- m ²			
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)						
構成棟	美術館、美術館増築部分、美術館増築部分					
複合・併設施設	-					
建築年度	昭和54～令和4年度	経過年数	3～46年	総取得費		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,934 m ²	うち借用面積		
階数(地上)	3階	階数(地下)	1階	避難所指定		
3 管理運営データ						
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数		
	-人	56,853人	57,401人	38,085人		
施設コスト ^{※2} (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	3,289,773	支出	人件費	723,772
		国費	-		修繕料	2,258,419
		県費	-		火災保険料	-
		その他	4,061,558		維持管理委託料	14,141,658
		市費(一般財源)	293,349,917		敷地借上料	-
		合計	300,701,248		工事請負費	162,967,000
	施設外観				その他維持費	-
					小計	180,090,849
					②運営コスト	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	3,289,773	支出	人件費	46,771,014
		国費	-		光熱水費	14,017,704
		県費	-		その他委託料	20,083,398
		その他	4,061,558		その他運営費(事業費)	39,738,283
		市費(一般財源)	293,349,917		小計	120,610,399
		合計	300,701,248		合計(①+②)	300,701,248
	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}				延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}	
	ココスト状況				7,896円/人	
					102,488円/m ²	
特記事項	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}	市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}				
	86円/人	4,068円/人				

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

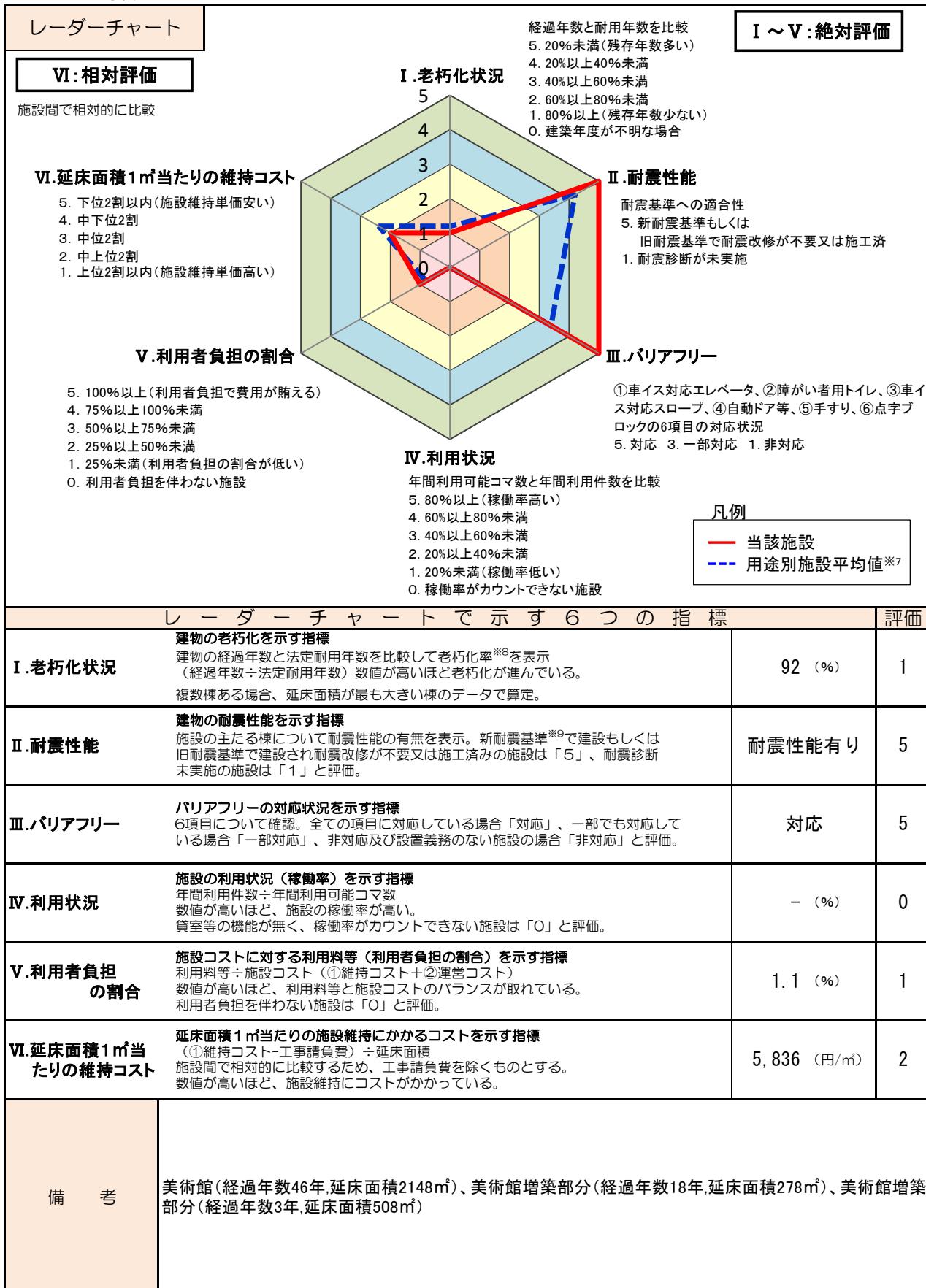
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	市史資料調査室				
従たる施設の場合、主たる施設名	市民図書館中部分館				
大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号	
所管部局	文化財課				
1 土地データ					
所在地 (小学校地区)	碧南市 源氏神明町2番地 (中央小学校区)	敷地面積	- m ²	うち借地面積	- m ²
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)					
構成棟	市史資料調査室				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和44年度	経過年数	56年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	242 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し
3 管理運営データ					
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	- 人	- 人	- 人	- 人	直営
施設コスト ^{※2} (R4~R6年度) (ファシリティコスト)	収入	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
	利用料等	927	支	人件費	-
	国費	-	①維持コスト	修繕料	85,563
	県費	-	①維持コスト	火災保険料	2,102
	その他	-	①維持コスト	維持管理委託料	748,377
	市費(一般財源)	20,634,968	支出	敷地借上料	-
	合計	20,635,895	②運営コスト	工事請負費	1,826,293
	施設外観		②運営コスト	その他維持費	-
			小計	小計	2,662,335
			②運営コスト	人件費	16,459,348
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}	延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			
	- 円/人	85,272 円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}	市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}			
	- 円/人	286 円/人			
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

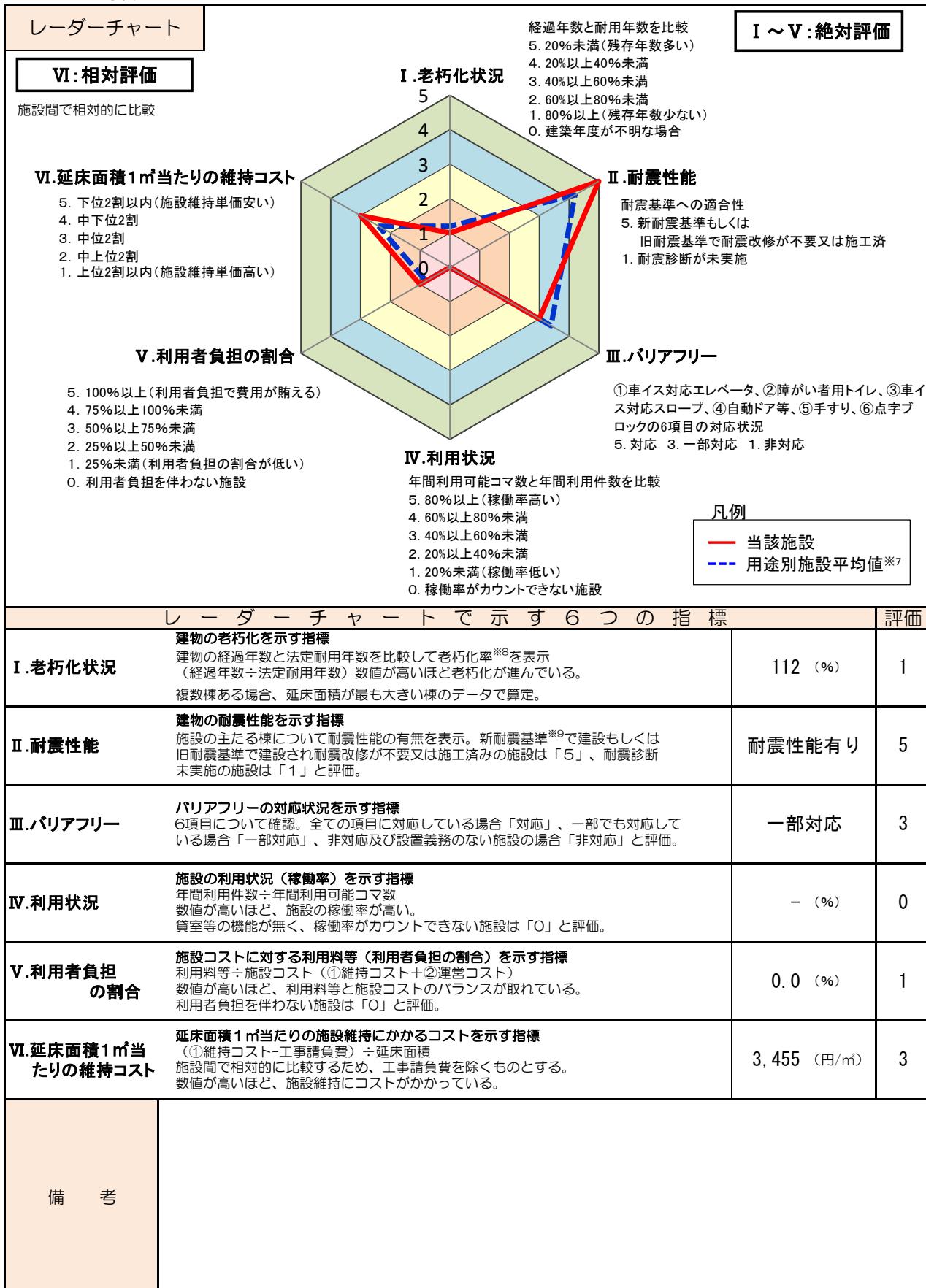
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	旧大浜警察署		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	施設番号	98
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	文化財課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 錦町1丁目7番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,167 m ² - m ²
----------------	--------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	旧大浜警察署、武道場				
複合・併設施設	-				
建築年度	大正12～昭和15年度	経過年数	85～102年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	341 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	-人	-人	-人	-人	直営	
施設コスト ^{※2} (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	- - - - 280,712	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計	- 2,640 3,466 - - - - 6,106
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	合計	280,712	支出	人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計	- 26,541 248,065 - 274,606
	内訳	合計(①+②)	280,712		合計(①+②)	280,712
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			
	-円/人		823円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}			
	-円/人		4円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

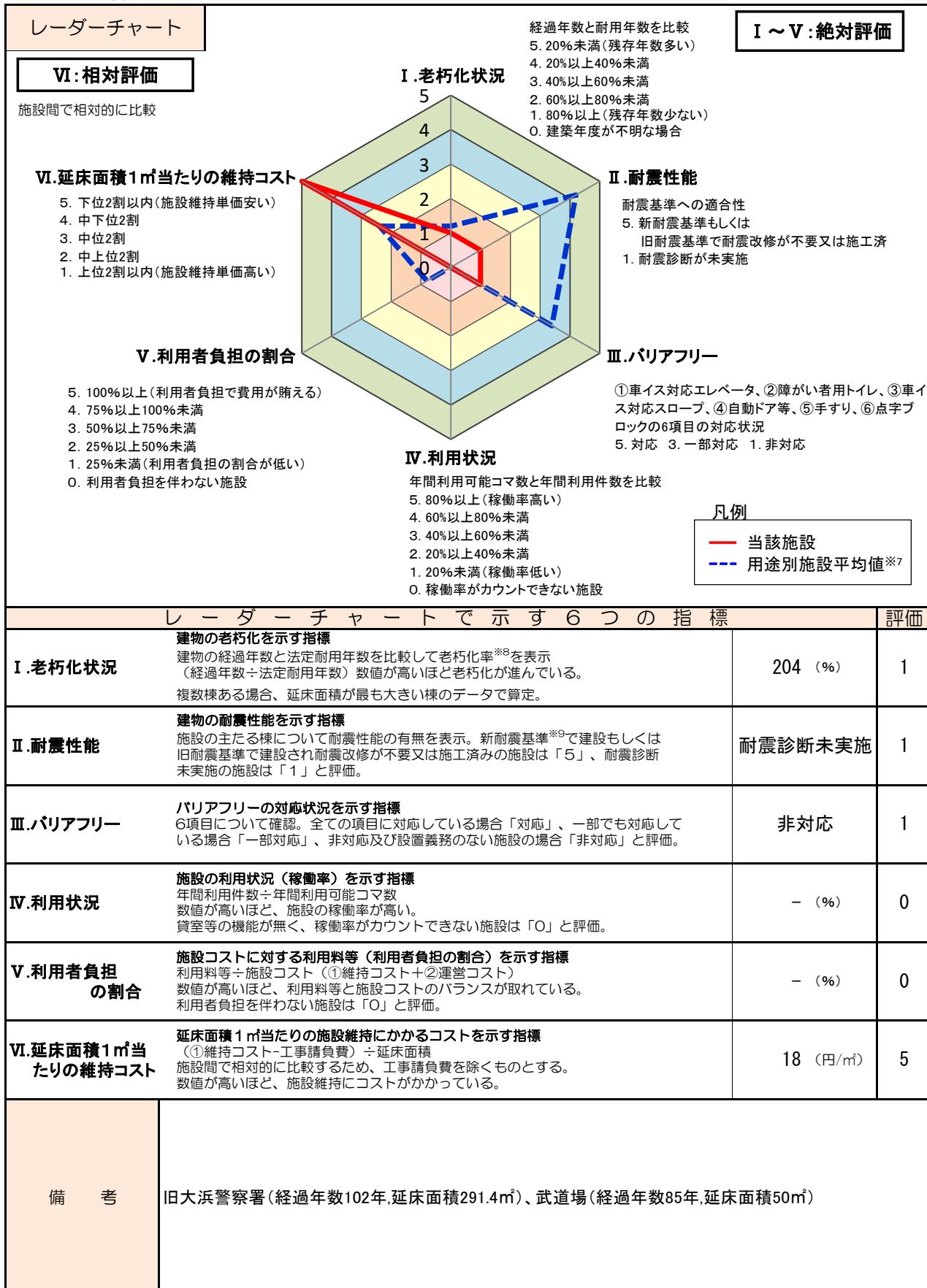
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。